



「つながりをいかして、だれもが尊厳をもつていきることができる社会」の実現をめざして

社会福祉法人京都府社会福祉協議会

会長 小畠 英明



新年明けましておめでとうござります。

皆様におかれましては、日頃から京都府社会福祉協議会の活動に対し、深い御理解と御支援を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、近年、国内においても自然災害が頻発する中、京都府内においては、市町村社会福祉協議会や関係機関、ボランティア団体が連携し、災害ボランティアセンターや避難所支援に取り組んでいます。

平時から研修・訓練、ネットワークづくりに継続的に取り組み、被災地に駆けつけるボランティア、地域で声を掛け合い助け合う住民、要配慮者へのきめ細かな支援に取り組む福祉関係者など、支え合いの力が確実に広がって

きています。

特に、昨年の大分県大規模火災では、地元の社会福祉法人の職員が避難所までの移動支援に迅速に取り組まれたことで多くの方々の命を救ったとの報道がありました。こうした取り組みの背

景には、平時から地域での支え合いによる安心して暮らせる地域づくりの実践があり、世代や立場を超えた交流の重要性がますます高まつてきていると感じています。

「つながりをいかして、だれもが尊厳をもつていきることができる社会」をつくるという基本理念のもとに、こども食堂や子どもの居場所を支えるネットワークづくり、包括的支援体制の構築や身寄りのない高齢者等の生活課題に応える「総合的な地域福祉権利擁護」を実施していきます。

「丙」は火の性質を持ち、陽のエネルギーを象徴し、「午」もまた火の性質に属するため、「丙午」は「火と火」が重なった、非常にエネルギーッシュな組み合われとのことです。つまり「情熱」「エネルギー」「行動力」「改革」がキーワードとして、新しいことを始めるには最適の年と言われています。

私たちを取り巻く環境は、少子高齢化の一層の進行、単身世帯の増加、地域のつながりの希薄化など、複雑かつ複合的な課題を抱えています。また、困りごとを抱える方々を専門機関へつなぐ民生児童委員やボランティア活動など、地域福祉の支え手が減少してい

ます。

こうした中、京都府社会福祉協議会としても支援を必要とする人を早期に発見し、孤立しない地域づくりを進めいくことが重要な使命であると、改めて強く感じております。

今年は、「丙午」の年に当たります。改善支援の取り組みなどを通して、誰一人取り残されず、尊厳や生きがいを感じ豊かに生きることができる地域づくりをより進めてまいります。

「丙」は火の性質を持ち、陽のエネルギーを象徴し、「午」もまた火の性質に属するため、「丙午」は「火と火」が重なった、非常にエネルギーッシュな組み合われとのことです。つまり「情熱」「エネルギー」「行動力」「改革」がキーワードとして、新しいことを始めるには最適の年と言われています。

皆様におかれまして、本年が素晴らしい一年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年の御挨拶といたします。